

関西医科大学と SPLYZA、 AI による動作解析技術の共同研究を開始

【本件のポイント】

- 体の各部位の手軽な動作解析が可能なアプリ
- 探究学習・スポーツの他、研究・臨床などのシーンで利用可
- 動作解析の精度向上に向けて共同研究を進展

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）リハビリテーション学部理学療法学科田頭悟志助教を代表とする研究チームと、アプリケーション開発で「スポーツ教育とヘルスケア」の支援を行う株式会社 SPLYZA（静岡県浜松市、代表取締役・土井 寛之、以下「SPLYZA」）、は、2025年3月6日付で SPLYZA が提供する AI によるマーカーレス動作分析アプリ「SPLYZA Motion」を活用した動作解析技術に関する共同研究契約を締結しました。

1

【研究内容/役割】

AI を用いた動作解析アプリケーションの有用性の研究

本研究では、田頭助教を代表とする研究チームが、SPLYZA Motion を活用した歩行分析および体幹筋機能評価を測定、並びに測定結果に基づくフィードバックを行うアプリケーションの精度向上とシステム開発の研究に取り組みます。SPLYZA はアプリケーションの改良・検証を担当し、動作解析の精度向上に向けて共同で研究を進めて参ります。

【SPLYZA Motion とは】

<https://motion.products.splyza.com/>

AI によるマーカーレス 3D 動作分析アプリ



2022年にサービスを提供開始し、2025年3月現在の導入実績は教育機関や医療系施設など約170団体以上になります。

手軽に体の各部位の「角度(角速度)・速度(加速度)・特定の位置からの距離・脊椎の湾曲角・軌跡」などが算出可能であるため、探究学習・スポーツに加えて研究・臨床など、様々なシーンでの利用例も増えています。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

リリース先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、
科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ

2025年3月26日

No.000246



PRESS RELEASE

【株式会社 SPLYZA について】

<https://www.splyza.com/>

会社名：株式会社 SPLYZA（スプライザ）

所在地：静岡県浜松市中央区相生町 16-13

代表者：代表取締役 土井 寛之

ファクトブック：<https://www.splyza.com/company/factbook.html>

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp